

査研究し政策立案・
を行っています。
えします。

※報告書の全文は、3月末に多摩市
議会ウェブサイトに掲載します。
市内図書館や行政資料室でもご
覧いただけます。



常任委員会 視察報告



認知症の方への支援事業・ケア技法の先進地 を視察しました

健康福祉常任委員会

金沢市の認知症施策について 石川県金沢市

予防と共生を車の両輪とした、認知症の方を支える体制の充実

金沢市では、オレンジカフェ（認知症カフェ）が各地域包括センター（54地区）ごとにあり、若年性認知症カフェも含めて活発に活動されています。また、認知症を抱えた方やその家族が気軽に悩みを相談できる窓口として、「金沢市認知症地域支援センター ちむくぐる」を設置して、関係機関との連携や情報発信も充実しています。認知症高齢者の見守りでは「みつけてネット」「見守りタグ」「見守りシール」などを活用して、取組みを進めています。活発に取り組まれている認知症カフェや認知症地域支援センターなど、共生社会に向けた先進事例を参考にしていきたいと思います。



全国に先駆けたデイサービスの発祥の地へ 富山県富山市

赤ちゃんからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず受け入れる

富山型デイサービスとは、高齢者、障がい者（児）、乳幼児などの区分で限定しない、小規模・共生・地域密着型の通所施設のことです。平成5年に富山市で民間自主事業として始まり、現在では共生型の介護福祉サービスとして全国共通の制度設計が図られています。高齢者や障がい者、児童など制度の垣根を超えた富山型デイサービスは、高齢者にとっても、障がい者にとっても、児童にとっても、地域にとっても、相乗的に機能し合うことが期待されています。

高齢化やヘルパー不足、障害福祉と高齢介護の制度移行に関する課題等に直面している多摩市において、今後の地域福祉のあり方や社会保障制度構築に向けた、参考となる実例として生かしてまいります。



ユマニチュードを学びに富山県立大学（看護学部）へ 富山県立大学富山キャンパス

国内初、教育課程に導入

フランスのイヴ・ジネスト先生らによって考案されたユマニチュードとは、「知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法」のことで、国内で初めて「看護ケアとユマニチュード」を正規のカリキュラムとして導入した富山県立大学看護学部への視察を行いました。

尊厳ある意思疎通方法

『見てあげる“ではなく、患者さんが何を望んでいるのかを考えるようになった』という学生の声からも、尊厳をどう守るのかという視点での意思疎通方法であり、認知症の方へのケア技法であることを実感しました。専門職

の方々だけでなく、在宅介護者の方々にこそ学んでいただきたいケア技法であり、多摩市でもぜひこのユマニチュードの哲学、ケア技法が広がることを期待するものです。

